



青柳園だより

2023年
7月号
文京区立青柳幼稚園

歌い継ぐ 語り継ぐ 園文化を紡ぐ ～祝・開園 55 周年～

園長 和島 千佳子

6月21日に、開園55周年を祝う会を開催しました。園児、保護者、教職員、一人一人それぞれの「みんな」が集まって、歴代園長先生方や地域のお客様をお迎えして、このお祝いの会ができたことを、心から嬉しく思います。

4歳児もも組は親子で、5歳児ゆり組は友達や先生と一緒に取り組んだ藍染め。この地域にゆかりのある講師の方に教わりながら藍染めをしたハンカチを結び、会場を飾りました。「55」は、ひとつの「5」は園児が、もうひとつは保護者が、赤い円シールを貼っていき、出来上がりました。数字は万国共通、シールを貼っていくことはさほど説明を要さず、みんなが取り組みやすかったようです。会場までの廊下には、5歳児ゆり組が親子で撮影した写真を使って園のお気に入りの場所を紹介する「myあおやぎNOW」を展示しました。

子どもたちは手話付きの歌(1, 2番)を歌いました。

「♪やなぎのなかからうまれたよ みどりのかぜとあおやぎちゃん♪」この歌は平成28年度に保護者の方々によって生まれ、文京手話会の方に監修していただいた手話がついています。毎月の誕生会のオープニングに歌い継がれています。その歌のもととなる「あおやぎちゃん」(本園マスコットキャラクター、柳の木の精霊です)は、40周年(平成20年度)を記念して誕生し、その親しみやすさから園児や保護者、教職員のみならず、訪れる様々な方々にも愛されています。



今年はその歌に3番ができました。各国にゆかりのある保護者の方に2番の歌詞を訳していただき、4カ国語をつないで作ったものを、会の中でお披露目しました。食い入るように見て、聴いていた子どもたちの、それぞれの心の中に、新たな興味・関心が芽生えたようです。これから、3番も歌い継いでいきます。

地域の講師による日本舞踊の鑑賞と体験、そして、降園後には4年ぶりに復活したハッピーランチ(本園ならではのスペシャルな園庭開放です)。ランチタイムの後はアクリル板を利用したフォトスポットも登場!保護者有志の方の力作が揃い、大人気でした。コロナ禍で人と人とを隔てていたものが、人と人をつなぐものに生まれ変わりました。



修了生やその保護者の方、元職員の方などが園に訪れ、様子が変わっているところや変わらずにあるものなど、当時の思い出を懐かしさとともに語ってくださいます。成人したばかりの修了生が来園の際、預かり保育利用の子どもたちと触れ合い、互いに幼稚園の話をしている姿。未就園児ひろばに集う保護者の方や、園にお仕事で来た業者さんが「私、この園の出身なのです」とにこやかに話しになる姿。尊い場と時間がここにあるな、と胸が熱くなります。

歌も、語りも、それ自体には形がなく、人々が歌い継ぎ、語り継いでいくことで文化が育まれ、継承されていきます。

青柳幼稚園で育まれてきた園文化は、今ここでの園の暮らしの中で、集う人々によって、日々紡がれ続けています。

修了生の方、ゆかりのある方、よろしければぜひ、お話を聞かせてください。ご一報の上ぜひ園にいらしてください。ご連絡をお待ちしております。